

研修会名：体表解剖学Ⅱ（上肢）

<研修概要>

日 時： 2019年5月25日（土）
時 間： 研修2 14：00～17：00
会 場： 徳島文理大学 23号館 5階評価室

大会参加費に加えて
予約費用が必要

研修形態	講義+実技		
予約申し込み	必要	予約定員	54人
予約費用	2000円		
無料聴講	あり	聴講定員	30人

講 師： 壇 順司 氏（帝京大学）
補助講師： 岡部 孝生 氏（土佐リハビリテーションカレッジ）
乙戸 崇寛 氏（埼玉医科大学）
三浦 達浩 氏（植草学園大学）
柴本 圭悟 氏（総合上飯田第一病院）
木原 太史 氏（足達消化器科整形外科医院）
祝 広孝 氏（曾我病院）

<研修内容>

理学療法士が正確な評価や効果的な治療を行うためには、正しい解剖学・体表解剖学の知識に基づく正確な触察が不可欠です。そこで、本研修会では、触察のために必要な解剖学の講義と触察のデモンストレーションを行います。また、触察の臨床応用例についても紹介します。

事前に予約登録をしていただいた先生方には、触察実習を行っていただきます。触察実習では、講師がモデルの体表上に投影した筋（骨、神経、靭帯も含む）の輪郭を頼りに、筋探索の重要な手がかりとなる触察感を指導者と共有していただきます。本研修会ではこの触察実習に多くの時間を配分するとともに、予約参加定員54名に対して7名の指導者を配置しますので、きめ細かい触察感の指導ができます。

本研修会を通して「触察出来ないと思っていた筋が、容易に触察できる場合があること」や、「触察出来ていたつもりの筋が、間違っている場合があること」を体験していただきたいと思います。